

# 大阪製鐵環境方針・環境自主行動計画

大阪製鐵では、環境方針および環境自主行動計画を制定し、環境保全活動に積極的に取り組みます。

## 環境方針(2003年7月8日制定)

### 環境理念

大阪製鐵グループは、鉄スクラップを鉄鋼製品にリサイクルする事業活動を通じ、環境負荷低減及び地球環境保全に積極的に取り組み、社会に貢献する。

### 基本方針

1. 事業活動が環境に与える影響を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル拡大等を通じ継続的に環境負荷低減に取り組む。
2. 法規制、条例等を遵守することはもとより、自主的に環境保全活動を推進、徹底するために、環境マネジメントシステムを整備、改善し、定着させる。
3. 環境方針を実現するため環境目的・目標を設定し活動すると共に、定期的に内部監査、環境パトロール、マネジメントレビューを実施し常に向上を図る。

## 環境自主行動計画(2002年10月10日制定)

経団連環境自主行動計画【鉄鋼[日本鉄鋼連盟]】を受け、大阪製鐵は新中期経営活動の中で以下の自主行動計画を策定し推進する。

### 1. 温暖化対策

生産工程における省エネルギーの推進。

#### 目標

2000年度で1995年度比12.2%の省エネルギーを達成したが、新中期計画では2000年度を基準として、2005年度までに6.8%の省エネルギーを目標とする。

#### 主な対策

各工場共通・・・加熱炉への熱片装入率を向上し燃料原単位を低減する。

恩加島工場・・・炉頂排ガス吸引設備の垂直立ち上げおよび安定稼働。

補助バーナーの改造による電気炉電力原単位の改善。

堺工場・・・炉容アップによる生産性向上。

補助バーナーの改造による電気炉電力原単位の改善。

リジェネバーナー導入、レキュペレーター更新により省エネルギーを図る。

西日本製鋼所・・・圧延の生産性向上による一貫生産能力アップ。

### 2. 廃棄物対策

鉄鋼製造工程で発生する副産物(スラグ、ダスト、スラッジ)の資源化、社内リサイクルを推進する(資源化率99%を目指す)

スチール缶プレス屑の使用量を拡大する(リサイクル目標75%)

自動車プレス屑使用について検討する(コンソーシアムの検討)

### 3. 環境マネジメント等

2003年度中にISO14001認証取得を推進する。

LCAに関する取り組みの推進。

オフィスにおける省エネルギー、省資源の推進。

製鐵所付近の緑化推進。